

共創型対話学習研究所 機関誌 (論文集)

未来を拓く教育実践学研究 第5号

特集 転換期に対応した教育の創造

共創型対話学習研究所 編

共創型対話を活用した対話型授業の開発、教育・学習の基盤の問い直しなどを目的とする共創型対話学習研究所による論文集。

現在、新型コロナウイルスの流行により一変した教育現場は、ほかにもさまざまな面で転換期を迎えています。今号では、転換期の教育をテーマに、教育学研究者・教育実践者たちによる、ときに学校教育の枠を超えたさまざまな「学びの形」の論考を収載しています。

◆目次

【巻頭言】Covid-19 と子どもとパラダイムシフト——宮地敏子 (児童文学者)

<特集論文> 特集「転換期に対応した教育の創造」

人間中心主義から生命中心主義へ——多田孝志 (金沢学院大学)

少子化時代の教育実践——和井田清司 (武蔵大学)

共生への対話のための『外国語としての日本語』の実践——横田和子 (広島修道大学)

転換期に対応した地理歴史科教育の創造——祐岡武志 (阪南大学)

転換期の学校において、何をどう「問い直す」のか——高橋 栄介 (上越市立大町小学校)

日本の公教育で学ぶ外国につながる児童生徒の言語教育支援——松田真希子 (金沢大学)

<自由投稿論文>

発達障害児の余暇活動における学び合いの実践

——青木利樹 (東京学芸大学教職大学院)、田中亮 (長野県塩尻市立塩尻東小学校)

美術教育におけるオープンフォームを活用した教員養成に関する一考察

——家崎萌 (兵庫教育大学大学院)

子どもの育ちを見通した領域「表現」の内容と指導の方法——松下明日香 (金沢学院大学)

対話型学習の手法修得を目指す中・高理科初任教員の研修

——嶋耕二 (石川県教育委員会事務局学校指導課)

オンラインによる教育相談の非言語的コミュニケーションの効果——佐田東彰 (金沢学院大学)

(ほか)



◆編者

共創型対話学習研究所

2016年設立。真にグローバル時代を生きる資質・能力、技能もった人間を育成するための対話を活用した学習 (対話型学習) の基本的考え方と具体的方途を明らかにし、これからの学びの方向について提案し、学びの質的向上に貢献することを目的に活動している。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発行：共創型対話学習研究所 発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	共創型対話学習研究所 [編] 未来を拓く教育実践学研究 第5号 217頁 / A5判 / 並製 定価 2,000円 (税別) ISBN978-4-86693-451-8 C1037
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。